

❁ いわくに市議会だより

No. 64

令和4年12月発行

See議会



「藤生神楽」

遠藤恵津子氏撮影（青木町）
写団「のら犬」所属

紙面のQRコードをスマートフォン
などで読み込んでいただくと、より
詳細な内容を御覧いただけます。

目次(主な内容)

議員の紹介	2~3	各委員会の構成	6
正副議長の紹介	4	9月定例会の報告	7
11月臨時会の報告	4	議員提出議案	9
議席表	5	委員会審査報告	10~11
一部事務組合議会議員	5	議案の賛否	12

くわた かつひろ
桑田勝弘



- ①総務常任委員会
- ②公明党議員団
- ③読書
- ④青は藍より出でて藍より青し

28人の 新議員の紹介

(五十音順)

① 常任委員会 ② 所属会派 ③ 趣味 ④ 抱負・座右の銘

くわはら としゆき
桑原敏幸



- ①教育民生常任委員会
- ②憲政会
- ③スポーツ全般
- ④人間万事塞翁が馬

おくえ とくなり
奥江徳成



- ①建設常任委員会
- ②公明党議員団
- ③韓国や中国の時代劇鑑賞
- ④冬は必ず春となる

いしはら まこと
石原 真



- ①経済常任委員会
- ②同志会
- ③スポーツ観戦、旅行
- ④地域の声を市政へ！「有言実行」

しげおか くにあき
重岡邦昭



- ①経済常任委員会
- ②市民クラブ・草の根
- ③読書、旅行、釣り
- ④誠の覚悟 誠を尽くす。相手の立場を考慮し、謙虚な心で接する。

かたおか かつのり
片岡勝則



- ①経済常任委員会
- ②憲政会
- ③日曜大工、詩吟
- ④初心忘るべからず

いしもと たかし
石本 崇



- ①総務常任委員会
- ②志政いわくに
- ③読書、相撲初段、柔道四段
- ④ピンチはチャンス！
人生はドラマだ！！

せむら ひさお
瀬村尚央



- ①経済常任委員会
- ②市政改革クラブ
- ③サッカー、旅行
- ④物事はすべて考え次第

かわぐち たかゆき
川口隆之



- ①教育民生常任委員会
- ②志政いわくに
- ③読書、神社仏閣巡り、御朱印収集
- ④市の課題、地域の問題など自分のできる限り役立てていきたい。

うえの まさのり
植野正則



- ①建設常任委員会
- ②憲政会
- ③音楽鑑賞
- ④諦めず、出来ると信じて前へ

たけだ いさお
武田伊佐雄



- ①総務常任委員会
- ②憲政会
- ③映画鑑賞
- ④一、誠実 二、不屈 三、謙虚

きふね ひとし
貴船 斉



- ①総務常任委員会
- ②憲政会
- ③スポーツ（観戦を含む）
- ④初心忘るべからず。市民の負託を受けた者である意識を持ち続ける。

おがわ やすし
小川安士



- ①経済常任委員会
- ②日本共産党市議団
- ③芸術鑑賞
- ④地域の課題に正面から取り組む

まつかわ たくじ
松川卓司



- ①教育民生常任委員会
- ②憲政会
- ③ウォーキング、ゴルフ
- ④我以外皆師也

ひろなか のぶお
広中信夫



- ①総務常任委員会
- ②市政改革クラブ
- ③神楽“岩国行波の神舞”
- ④“志ある所に道は開ける”
更にもう一歩前へ

ながおか たつひさ
長岡辰久



- ①教育民生常任委員会
- ②日本共産党市議団
- ③ジャズ、スポーツ、メダカ、野菜
- ④くらしと平和第一、子どもの笑顔
輝く岩国を！真理は平和のために

まつだ かずし
松田一志



- ①総務常任委員会
- ②日本共産党市議団
- ③写真・ジョギング
- ④峠のむこうに春があると、
ひたすらに歩きつづける

ひろなか ひであき
広中英明



- ①建設常任委員会
- ②市民クラブ・草の根
- ③バイクツーリング
- ④継続は力なり

なかむら つねとも
中村恒友



- ①建設常任委員会
- ②市民の声をきく会
- ③子ども達との農耕
- ④至誠一貫

まるも いくお
丸茂郁生



- ①経済常任委員会
- ②志政いわくに
- ④市民ひとり一人の思いを
幸せのカタチにしていく

ふじしげ けんじ
藤重建治



- ①総務常任委員会
- ②志政いわくに
- ③スポーツ（卓球・山登り）
- ④初心を忘れず!! 温故知新

なかむら ゆたか
中村 豊



- ①経済常任委員会
- ②公明党議員団
- ③時代劇鑑賞
- ④常に笑顔であり、
前向きな気持ちであること

や の まさあき
矢野匡亮



- ①教育民生常任委員会
- ②志政いわくに
- ③魚釣り、ゴルフ
- ④初心を忘れず、皆様の声を
市政に届けます。伝承と改革

ふじもと やすなり
藤本泰也



- ①建設常任委員会
- ②志政いわくに
- ③魚釣り
- ④次世代を創り今を支える

のもと まゆみ
野本真由美



- ①教育民生常任委員会
- ②公明党議員団
- ③読書
- ④笑顔あふれる岩国市をめざして
頑張ります。「君よ君自身たれ」

やまもと たつや
山本辰哉



- ①建設常任委員会
- ②同志会
- ③ギター、作曲、写真
- ④人望を得るには自ら心を開け

ほそみ まさゆき
細見正行



- ①教育民生常任委員会
- ②市政改革クラブ
- ③美術品鑑賞
- ④夢を描いて悔い無き人生

ひめの あつこ
姫野敦子



- ①建設常任委員会
- ②リベラル岩国
- ③コーラス、音楽鑑賞、旅行、手芸
- ④二度とない人生だから
住みよいまちはみんなでつくる

新議長・副議長紹介



■ 議長 桑原 敏幸
令和4年11月15日就任



■ 副議長 植野 正則
令和4年11月15日就任

11月臨時会の報告

改選後初めての岩国市議会臨時会が、11月15日（火）に開催されました。

臨時会では、議長選挙が行われ、投票の結果、桑原敏幸議員が当選されました。

続いて、副議長選挙が行われ、投票の結果、植野正則議員が当選されました。

次に、4つの常任委員会及び議会運営委員会において、新委員を選任しました。

続いて、令和4年度岩国市一般会計補正予算（第5号）の専決処分承認について等3件の報告が行われました。

休憩中に各常任委員会及び議

会運営委員会が開催され、再開後、委員長、副委員長が発表されました。

また、議会選出監査委員として松川卓司議員を選任する議案が提出され、出席議員の全員が賛成し同意しました。

その後、岩国地区消防組合など5組合の一部事務組合議会議員選挙が行われました。

次に、議会運営委員会が閉会中に調査することができる特定事件について、議会で付議されました。

議事日程が全て終了した後に、市長より、発言の申出があり、本市元職員の官製談合防止法違

反について、報告がなされ、閉会しました。



議 席 表

演 壇

10	丸茂郁生	9	矢野匡亮	8	川口隆之	7	重岡邦昭	6	広中英明	5	中村恒友	4	姫野敦子	3	長岡辰久	2	松田一志	1	小川安士
20	石本崇	19	藤重建治	18	藤本泰也	17	奥江徳成	16	野本真由美	15	中村豊	14	桑田勝弘	13	瀬村尚央	12	細見正行	11	広中信夫
		28	桑原敏幸	27	植野正則	26	貴船 齊	25	片岡勝則	24	松川卓司	23	武田伊佐雄	22	山本辰哉	21	石原 真		

一部事務組合議会議員

名 称	議員名（五十音順）
岩国地区消防組合	片岡勝則・桑原敏幸・中村 豊・広中信夫・藤重建治・松川卓司・松田一志・矢野匡亮
玖珂地方老人福祉施設組合	植野正則・小川安士・奥江徳成・武田伊佐雄・藤本泰也・丸茂郁生
柳井地域広域水道企業団	武田伊佐雄
周東環境衛生組合	石本 崇・松川卓司
周陽環境整備組合	植野正則・川口隆之・重岡邦昭・細見正行

※一部事務組合は、複数の市や町が事務の一部を共同して処理するために設置する特別地方公共団体です。共同処理する事務の予算等を審議するために、一部事務組合議会が設置されています。

各委員会の構成

建設常任委員会

委員長 山本 辰哉
副委員長 広中 英明
委員 植野 正則・奥江 徳成
中村 恒友・姫野 敦子
藤本 泰也

【所管事項】

環境部、建設部、都市開発部(中心市街地整備課を除く)、水道局の所管に属する事項

経済常任委員会

委員長 丸茂 郁生
副委員長 小川 安士
委員 石原 真・片岡 勝則
重岡 邦昭・瀬村 尚央
中村 豊

【所管事項】

産業振興部、都市開発部(中心市街地整備課に限る)、農業委員会の所管に属する事項

総務常任委員会

委員長 武田伊佐雄
副委員長 桑田 勝弘
委員 石本 崇・貴船 斉
広中 信夫・藤重 建治
松田 一志

【所管事項】

総務部、総合政策部、市民生活部、会計管理者、議会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員の所管に属する事項、他の常任委員会に属さない事項

教育民生常任委員会

委員長 矢野 匡亮
副委員長 長岡 辰久
委員 川口 隆之・桑原 敏幸
野本真由美・細見 正行
松川 卓司

【所管事項】

健康福祉部、教育委員会の所管に属する事項

議会Q&A 委員会って何だろう？

市議会の最終的な決定（議決）は本会議で行われますが、市の仕事は広範多岐にわたることから、本会議だけで審議することは大変難しくなっています。そのため、岩国市では4つの常任委員会を設置し、効率的・専門的に審査や調査を行っています。

常任委員会のほかに、議会の運営等に関する調査を行う議会運営委員会や、議会が必要と認めるときに設置して特定の事件を調査する特別委員会があります。

議会運営委員会

委員長 中村 豊
副委員長 貴船 斉
委員 石本 崇・片岡 勝則
重岡 邦昭・藤本 泰也
細見 正行・松田 一志

【所管事項】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項

9月定例会の報告

9月定例会は、8月26日から9月22日までの日程で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告5件、監査報告3件、報告2件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど認定14件、令和4年度岩国市一般会計補正予算（第4号）など20議案が上程されました。

議決を要する37の案件のうち、諮問3件が可決され、認定14件、議案20件がそれぞれ、経済常任委員会、教育民生常任委員会、建設常任委員会、総務常任委員

会に付託されました。

一般質問は9月7日から12日までの4日間の日程で22人の議員が登壇し、「農業支援策の強化について」、「岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」、「Society 5.0 社会に向けて」等、活発な議論が交わされました。

9月13日から16日の4日間の日程で経済、教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案等について慎重な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会の委員長から、委員会に付託された議案等の審査経過と結果につ

いて報告があり、認定第1号を除く認定13件が全会一致で認定され、議案20件の全てが、全会一致で原案のとおり可決されました。認定第1号「令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について」につきましては、賛成多数で認定されました。

なお、継続審査案件であった請願第2号については、教育民生常任委員会より引き続き継続審査の申出がなされ、承認されましたが、議員の任期満了に伴い、廃案となりました。

続いて、議員提出議案は、「駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書」「水田

活用の直接支払交付金の見直しについて5年ルール導入の撤回を求める意見書」及び「女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書」の3議案が提出され、全会一致で可決されました。



9月定例会

一般質問

改選前の9月定例会では、22人の議員が登壇しました。

今号は、紙面の都合で質問項目のみを発言順に紹介します。詳細は市議会ホームページに掲載しています。



○周陽環境整備センターの跡地活用について

中村 豊 (公明党議員団)

○おむつが必要な高齢者に対する支援について

○退職後の教員の人材活用について

中村 雅一 (憲政会)

○錦帯橋について

広中英明 (市民クラブ・草の根)

○子供たちの教育環境について

○玖北地域の課題について

片山 原司 (二葉会)

○錦川における新設平瀬ダムに係る今後の防災対策について

○避難訓練について

田村 博美 (憲政会)

○西岩国地域のまちづくりについて

○中山間地域振興について

藤本 泰也 (創志会)

○学校規模・配置の適正化について

○空き家の対策について

藤重 建治 (新政和会)

○本市の1次産業の振興策について

石本 崇 (御植會)

○太陽光発電・風力発電について

○コロナ禍等における中小零細企業や生活困窮者の支援について

矢野 匡亮 (湧水)

○地域医療について

○岩国海洋環境試験評価サテライトを活用した施策について

武田 伊佐雄 (憲政会)

○子育て支援について

○人口減少対策について

○公共交通の在り方について

越澤 一一代 (公明党議員団)

○犯罪被害者等に寄り添う社会の実現について

○子育て支援の充実について

○児童・生徒の眼の健康について

桑田 勝弘 (公明党議員団)

○第3次岩国市総合計画について

○子ども食堂について

姫野 敦子 (リベラル岩国)

○市の情報提供について

○庁舎内のトイレの整備について

○新型コロナウイルス感染症の情報提供について

○不妊治療、妊娠・出産に関わる事

業について

長岡 辰久 (日本共産党市議員)

○基地問題について

○教育問題について

○医療・福祉人材の確保について

丸茂 郁生 (志誠いわくに)

○子供の健やかな成長への支援について

○子供の防災意識向上の教育について

重岡 邦昭 (市民クラブ・草の根)

○岩国市の人口減少対策について

○由宇町防災公園の進捗状況について

○在日米軍再編について

○令和4年度岩国市汚水処理施設整備構想の見直しについて

瀬村 尚央 (市政改革クラブ)

○岩国市過疎地域持続的発展計画について

○装港小学校の今後について

大西 明子 (日本共産党市議員)

○岩国市の未来について

○教育行政について

小川 安士 (日本共産党市議員)

○市民に及ぼす基地の影響の変化について

○農業支援策の強化について

○JR岩徳線の利便性向上について

松本 久次 (憲政会)

○岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

河合 伸治 (公明党議員団)

○JR岩徳線の代替手段の検討について

○Society 5.0社会に向けて

○JR岩国駅周辺整備事業について

植野 正則 (二葉会)

○岩国市の財政状況について

議員提出議案について

9月定例会において、以下の3件の議員提出議案が全会一致で可決されました。

1 議員提出議案第3号 駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書



《提案説明》同志会 山本辰哉議員

(要旨) 駐留軍関係離職者等臨時措置法は、米軍基地で働く日本人従業員の雇用確保・離職者対策の一環として昭和33年に制定され、それ以来、同法は、米軍の撤退・縮小等を理由とする駐留軍労働者の離職に際して職業訓練・特別援護に力を発揮しつつ5年ごとの期限延長を続け、今日に至っている。

同法は、令和5年5月16日をもって、その効力を失うこととなっているが、基地労働は、その使用者が米軍であり、米軍戦略の変更、米国防予算の削減及び基地の返還等により離職を余儀なくされる不安定雇用であることから、引き続き同法の期限延長を図ることが必要不可欠である。

よって、政府におかれては、来年5月の法期限を延長し、日本人従業員の雇用安定確保及び離職者対策に万全を期するよう強く要望する。

2 議員提出議案第4号 水田活用の直接支払交付金の見直しについて5年ルール導入の撤回を求める意見書



《提案説明》憲政会 片岡勝則議員

(要旨) 国においては、米政策改革の定着と水田フル活用の推進に向け、高収益作物の導入、定着などを支援し、主食用米の生産量を抑制する施策を進めており、水田活用の直接支払交付金も本来は、転作作物の販売収入が主食用米に比べて少額となるため、生産者への所得補償として創設されたものである。

そうした中で、このたび交付金の見直しが行われ、令和4年度から、5年間に一度も水を張らない水田は交付金の対象から除外するとの方針が示された。

方針どおりに見直しが行われれば、耕作放棄地増加の懸念と、進みつつある高収益作物の産地化にも大きな影響を及ぼすことになり、これまでに転作に協力してきた農家においては、この見直しに伴い、経営の支えとしてきた交付金の対象外となることで、離農に拍車がかかることになりかねない。

国におかれては、今回の水田活用の直接支払交付金の見直しが農業関係者に与える影響の大きさを認識し、5年ルールの導入については撤回していただくよう強く要請する。

3 議員提出議案第5号 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書



《提案説明》公明党議員団 越澤二代議員

(要旨) 女性デジタル人材育成については、女性の経済的自立に向けて、また、女性人材の成長産業への円滑な移動支援を図る観点から極めて重要である。

我が国の発展のため、国際競争力や生産性を向上させるには、政府が取りまとめた「女性デジタル人材育成プラン」の着実な遂行と実現が不可欠であり、デジタル化が進むことにより、大都市一極集中による人口の過度の偏在の緩和や、感染症等のリスクの低減等にも結びつくことに大きな期待が寄せられているところである。

よって、政府におかれては、地方における女性デジタル人材育成の強力な推進を図るため、次の事項を実施するよう強く求める。

- 1 本プランの実施・遂行において、自治体規模に合わせた取り組みやすい参考事例を国として積極的に発信すること。
- 2 テレワーク可能な企業の斡旋、紹介については全国規模で行えるよう、プラットフォームを形成すること。
- 3 全国のどこに住んでいても、また、育児や介護など時間的な制約があっても、デジタルスキルを習得してテレワークを活用しながら就労ができ、サポートを受けながら社内研修等による実践的な経験を積むことができる機会を提供すること。
- 4 テレワークの定着・促進に向けての全国的な導入支援体制をいち早く整備すること。
- 5 本プランの着実な遂行のための十分な予算を確保すること。

委員会審査報告

経済常任委員会・教育民生常任委員会・建設常任委員会・総務常任委員会

経済

委員長
副委員長
委員

瀬村 尚央
田村 博美
小川 安士・片岡 勝則
片山 原司・河合 伸治
藤本 泰也



認定第1号 令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 ブランド牛産地づくり事業に関して、今後の目標について伺う。

答 令和3年度から制度を拡充し飛躍的に利用数は伸びているが、市外に売却されると岩国牛と名乗れなくなる。岩国市から山口市場に出ている年間約300頭の子牛のうち半分ほどは岩国に戻ってきてほしいという思いで始めた。制度の活用で、ブランド力向上に寄与していきたい。

問 創業支援事業に関して、支給対象者の条件及び内訳、並びに周知の方法について伺う。

答 支給対象者は、岩国商工会議所が開催しているいわくに創業カレッジの受講者、または岩国市の特定創業支援事業に係る相談会を複数回受講

された方となっている。令和3年度の内訳として、菓子小売業、飲食サービス業、療術業、生活関連サービス業、飲食店、美容業となっており、周知方法は、岩国商工会議所や商工会、各金融機関において相談された方への案内やSNSを活用した宣伝にも取り組んでいる。

認定第8号 令和3年度錦帯橋管理特別会計歳入歳出決算の認定について

問 世界的な観光地とするために、その戦略として、錦帯橋の入橋料改定の議論をするべきではないか。今後の検討課題としたい。



認定第1号 令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 保育園運営費に関して、本市の保育料について伺う。

答 無料を除くと月額4,200円から7万2,800円となっており、最高額のみで比較すると本市は県内13市中で中位である。また、国の基準額からの減額も行っており、低所得者の保育料の負担を抑える意図のもと、各家庭に対しては所得に応じた応分の負担をお願いしている。

問 療育センター管理費に関して、療育センターの利用実績及び初診の場合の診察状況について伺う。

答 実績については、療育相談及び診察が2,937件、個別訓練が3,351件、集団訓練が276件となっている。療育センターにおいては利用希望者が多く、発達検査をす

教育民生

委員長
副委員長
委員

丸茂 郁生
長岡 辰久
石原 真・越澤 二代
武田伊佐雄・姫野 敦子
広中 英明・松本 久次



る場所も限られているため、初診は2、3か月待ちという状況であるが、その際は、療育センター内のあいあいサークルという親子通園訓練事業を紹介し、一旦はそこで子育てや発達の相談等をして、診察を待っていたらいい。議案第111号 岩国市看護学生修学資金貸付条例について

問 修学資金の返還免除の要件について伺う。

答 目的は、看護師の継続的な確保と育成並びに若者定住促進であり、少しでも長く看護師として岩国市にいてもらうため、卒業後に岩国市に就職する意思がある若者に対して修学資金を貸し付ける制度設計を図り、卒業後、修学した期間に1年間を加えた期間、市内の医療機関等に従事した方の貸付金の返還を免除している。

9月22日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。

主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

建設

委員長
副委員長
委員

中村 中村
石本 石本
桑原 桑原
山本 山本

豊 豊
雅一 雅一
崇・植野 正則
敏幸・藤重 建治
辰哉 辰哉



認定第1号 令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 橋梁点検において、ドローンを活用して点検を行った実績はあるのか伺う。

答 国においても、点検の効率化やコスト縮減を目的として、5年に1度行う橋梁の法定点検にドローンを用いることができるように制度改正が行われた。本市での使用実績では、昨年度、コンサルタンに委託する橋梁点検の一次調査の中で、試行的に使用している。

問 橋梁点検のみならず様々な分野でもドローンは活用できると考えるが、どのような活用方法を考えているのか伺う。

答 橋梁や建物などの施設の点検、耕作放棄地の調査など、広い分野で活用できるものと考えている。特に災害時

においては、人が立ち入れない被災箇所の被災状況が把握できることにより、二次災害を防ぎながら、初動体制を整える際に大きな役割が期待できるものと考えている。

問 市営住宅での外国籍入居者については、生活文化の違いにより、様々なトラブルが生じている。入居時のルール徹底、周知について伺う。

答 通訳などを介してルールを説明し、内容を理解した上で入居していただいている。今後は入居時の説明資料にし、外国語版を作成し、ルールを守って入居してもらうように、十分な説明を行っている。また、トラブルをめぐる情報を入手した際には、管理事務を行っている指定管理者と協議し、内容を把握した上で、入居者に対し注意、指導を行うなど、必要な対応を講じていきたい。

総務

委員長
副委員長
委員

松川 松川
矢野 矢野
大西 大西
桑田 桑田
広中 広中

卓司 卓司
匡亮 匡亮
明子・貴船 齊
勝弘・重岡 邦昭
信夫・細見 正行



認定第1号 令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 女性活躍推進アドバイザー派遣業務委託の実績について伺う。

答 ワーク・ライフ・バランスとは、男女の区別なく、やりがいや充実感を感じながら働くことができる社会の実現であるとされており、そのためには多様な生き方が選択できることや、これまでの男女の固定的な役割分担の意識を解消する必要があることから、平成28年度から株式会社Y M F G Z O N Eプランニングと委託契約を結び、企業等へアドバイザーを派遣する業務を展開している。令和3年度は市内の3つの企業に講師を派遣しており、それぞれの会社の総務部門や人事部門の立場の方々に参加している。

問 電子入札は、インターネットで行うことによる多くのメリットがあるが、他方で、パソコンを所持していないなどの理由で、電子入札システムが利用できない事業者も生じてしまう。対応の困難な事業者の参加の機会を確保しながら、電子入札を進めていただきたい。

答 電子入札システムの構築は令和3年度に完了しており、建設工事の入札については、令和4年度は移行期間として紙による入札も認めるが、来年度から電子入札へ完全移行する予定である。一方、物品の入札については、対応が難しい事業者が多く、電子入札への移行には至っていない。



9月定例会の議案等に対する各議員の賛否を掲載しています



【全会一致で可決された議案等】

【諮問】

- ・人権擁護委員の推薦について（3件）

【決算】

- ・令和3年度岩国市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市周東食肉センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市観光施設運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度錦帯橋管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和3年度岩国市病院事業会計決算の認定について
- ・令和3年度岩国市下水道事業会計決算の認定について
- ・令和3年度岩国市簡易水道事業会計決算の認定について
- ・令和3年度玖西環境衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について

【議案】

- ・令和3年度岩国市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

- ・令和3年度岩国市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- ・令和4年度岩国市一般会計補正予算（第4号）
- ・令和4年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・令和4年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和4年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和4年度岩国市市場事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和4年度岩国市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- ・岩国市看護師等確保対策基金条例
- ・岩国市看護学生修学資金貸付条例
- ・岩国市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・岩国市自転車駐車場条例の一部を改正する条例
- ・岩国市営駐車場設置条例の一部を改正する条例
- ・岩国市手数料条例の一部を改正する条例
- ・岩国市営住宅条例の一部を改正する条例
- ・岩国市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
- ・周陽環境整備組合の解散に関する協議について
- ・周陽環境整備組合の解散に伴う財産処分に関する協議について
- ・周陽環境整備組合の解散に伴う事務の承継に関する協議について
- ・岩国市過疎地域持続的発展計画の変更について

【議員提出議案】

- ・駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書
- ・水田活用の直接支払交付金の見直しについて5年ルール導入の撤回を求める意見書
- ・女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

【本会議で賛否が分かれた議案】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会										公明党議員団		共産党		市民		同志会		市政改革		二葉		志誠		リベ		新政		創志		澁水		行動		御楯	
		片岡勝則	貴船齊	桑原敏幸	武田伊佐雄	田村博美	中村雅一	松川卓司	松本久次	河合伸治	桑田勝弘	越澤二代	中村豊	大西明子	小川安士	長岡辰久	重岡邦昭	広中英明	石原真	山本辰哉	瀬村尚央	細見正行	植野正則	片山原司	丸茂郁生	丸茂郁生	姫野敦子	藤重建治	藤本泰也	矢野匡亮	広中信夫	石本崇					
令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（桑原敏幸）は採決に加わりません。

※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市民=市民クラブ・草の根、市政改革=市政改革クラブ、二葉=二葉会、志誠=志誠いわくに、リベ=リベラル岩国、新政=新政和会、創志=創志会、行動=市民目線で考え行動する会、御楯=御楯會



議場内に、心が和む「生け花」 ～9月定例会～

9月定例会一般質問の間、「専心池坊岩国支部」の方々に、「生け花」を生けていただきました。
花材(ユキヤナギ、コスモス、リンドウ、ケイトウ、マサキ、タマシダ、ワレモコウ)

目の不自由な方へ

いわくに市議会だより See 議会の音声データをご希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。（議会事務局 議事課 TEL 29-5193）